

# NPO架け橋10周年

## 『世界患者安全の日』記念 Webシンポジウム

—対話推進者と患者安全が共同する体制を構築するために—

**第一部** 9:30~12:00

『「架け橋」創立のこれまでとこれから』

豊田 郁子 NPO法人架け橋 理事長

『医療対話推進者と取り組む院内活動』

報告者:小牧市民病院・阪南中央病院 他

12:00~13:00 —休憩—

### 座長

第一部 加部 一彦 埼玉医科大学総合医療センター 医師

岡本 左和子 奈良県立医科大学教育開発センター特任講師

第二部 稲葉 一人 いなば法律事務所 弁護士

隈本 邦彦 江戸川大学 教授

浦松 雅史 東京医科大学病院 医師

長尾 能雅 名古屋大学病院 医師

参加費  
無料

2022年  
9/25  
(日)

対象  
医療従事者  
福祉・行政  
関係者など

**第二部** 13:00~16:30



### 来賓挨拶

梅木 和宣 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室 室長

### ビデオメッセージ

福井 トシ子 公益社団法人 日本看護協会 会長

後 信 医療機能評価機構 執行理事/九州大学病院 医療安全管理部 部長・教授

### 事故調査制度

『センター調査から見える医療者と患者遺族の関係について考える』

木村 壮介 日本医療安全調査機構 常務理事

宮田 哲郎 国際医療福祉大学医学部 教授

医療事故調査・支援センター総合調査委員会 委員長

### 院内業務

『対話推進者の力を活かして医療の質向上につなげる組織づくりを語る』

—患者安全と対話推進が共同すると患者・家族との関係性は変化するの—

長尾 能雅 名古屋大学病院 副病院長・患者安全推進部 教授

松村 由美 京都大学病院 医療安全管理部 教授

南須原 康行 北海道大学病院 副病院長・医療安全管理部 教授

### 安全管理者と対話推進者の座談会

『安全管理者と対話推進者が互いに求める役割と連携』

—対話推進者と患者安全が共同する体制を構築するために—

オンライン開催 **9:30~16:30**

以下のホームページからお申込み下さい。

URL:<http://www.kakehashi-npo.com/>

# 『世界患者安全の日』& 架け橋10周年記念 Webシンポジウム

本年度の「架け橋」は、創立10周年と『世界患者安全の日』を記念して特別な企画を立てました。

今から10年前、「架け橋」は医療事故に遭遇した患者遺族と当事者の医療者、医師、看護師、法律家、コミュニケーションの専門家等で創設しました。この年、医療政策として患者と医療者をつなぐ「医療対話推進者」を診療報酬の裏付けのもとに置くことができ、主たる事業を「医療対話推進者」を育て、支援することとして活動が始まりました。この間、わが国の医療安全や事故調査の取り組みは進展し、少しずつ成果を挙げていますが、他方、医療対話推進者はまだ周知や能力、安全との連携のレベルで多くの課題を抱えています。そこで、これまで『世界患者安全の日』を記念した行事を執り行ってきた9月に創立10周年の企画を合わせて「患者安全(事故調査を含む)」と「対話推進」のこれからについて考えることとしました。

第一部は、医療対話推進者や対話推進において連携している医療スタッフによる院内活動の報告、第二部は、医療安全管理者と医療対話推進者の役割と連携について、実務者と専門家の方々にご参加いただき、この10年で何が変わり、何を達成し、何が課題かを明らかにして、この先の10年を考えたいと思います。患者安全と医療対話推進が共同連携できるために、前半では、医療安全に携わる専門家から医療対話推進への期待をお話いただき、その期待に答えるために、どのような点を考え、実践につなげるのかをシンポジウムで議論したいと思います。

- ◆日時 2022年9月25日(日) 9時30分～16時30分
  - \* 8時45分よりZoomの受付を開始いたします。
  - ◆開催方法 オンライン開催「Zoomウェビナー」ライブ配信
  - ◆参加費 無料
  - \* オンライン参加の登録方法およびアクセス情報のご案内は、参加申込み時に登録していただくメールアドレスにお送りいたします。
- ※当ホームページの【オンライン参加について】を必ずご確認ください。

- ◆対象 医療従事者、福祉、行政関係者など
- ◆定員 200名(定員になり次第締め切ります)
- ◆申込締切 9月19日(月・祝)
- ◆参加申込 NPO法人架け橋ホームページより受付  
URL <http://www.kakehashi-npo.com/>

